

# メファキン「ヒサミツ」錠275 を服用される患者さんへ

必ず服用前に読んでください

## ● マラリアとは

マラリアは三日熱マラリア原虫、熱帯熱マラリア原虫、四日熱マラリア原虫、卵形マラリア原虫などの単独または混合感染に起因する病気です。

マラリア原虫を持った蚊（ハマダラカ属）に刺されることによって生じます。

## ● マラリアの主な症状

- 発熱、寒気、頭痛、嘔吐、関節痛、筋肉痛などの症状がでます。
- 潜伏期間は、三日熱マラリア12～17日、熱帯熱マラリア7～14日、四日熱マラリア18～40日、卵形マラリア11～18日です。
- 熱発作の周期は、熱帯熱マラリアでは不規則ですが、三日熱マラリアと卵形マラリアでは48時間、四日熱マラリアでは72時間毎に発熱が認められるのが特徴です。
- 熱帯熱マラリアは発症から24時間以内に治療しないと重症化し、死に至ることがあります。

## ● マラリアの予防

予防接種はありませんが、マラリアには予防薬があります。マラリア流行地へ渡航する際は、抗マラリア薬の予防内服を行うことが望ましいとされています。

マラリア予防薬は、医師の処方が必要です。渡航先の流行状況や滞在期間、活動内容、基礎疾患の有無などによって適応となる予防薬が異なります。

ご自身の体調や渡航先について事前に専門医と相談し、指示に従って服用してください。予防薬を服用していても、蚊に刺されないように工夫をする必要があります。

## ● 虫刺されを防ぐ工夫

- マラリアを媒介するハマダラカ属は夕方から夜間に活動することから、流行地では夜間の外出を避ける。
- 戸外に出るときは、長袖・長ズボンを着用し、できる限り肌の露出を少なくする。
- 虫よけ剤を適切に使用する。
- 蚊が室内に入らないよう戸や窓の開け閉めを減らし、網戸やエアコンを使用する。
- 渡航の際は設備が整った（網戸の設置等）宿泊施設を利用する。
- 蚊帳（特に殺虫剤を染み込ませたもの）を使用する。

## ● マラリア原虫の耐性

お薬に対するマラリア原虫の耐性（お薬に対して抵抗性を持ち、効かなくなること）は地域によって異なり、かつ年々変化しています。このお薬に対して耐性のあるマラリア原虫が存在する地域では、このお薬が効かない可能性がありますので、医師に渡航先・滞在先を正確に伝えた上でこのお薬の処方を受けてください。

## ● マラリアを疑う症状が出た場合

流行地に入ってから7日目以降にマラリアを疑う症状が出た場合、速やかに医療機関を受診してください。

予防薬を内服していても感染することがあります。

マラリアと診断されたときには抗マラリア薬を投与します。感染した地域やマラリアの種類によって使用する薬剤が異なります。予防薬と治療薬は別と考えてください。海外で症状が出たときのために、渡航先の医療事情を確認しておくことをお勧めします。

## ● メファキン「ヒサミツ」錠275とは

このお薬はメファキン「ヒサミツ」錠275（一般名：メフロキン塩酸塩）で、白色の錠剤です。

このお薬は、人間の赤血球内に侵入したマラリア原虫に対して効果がありますが、感染初期に肝臓に存在するマラリア原虫や、熱帯熱マラリア原虫で、人の体内ではほとんど悪さをしないが、蚊に吸われると他の人に感染させる元になるステージのものには効きません。

## ● 医師に伝える必要があること

次のことに心あたりの方は、医師にその旨を伝えてください。

- お薬や食物などで、発疹が出た経験がある方
- てんかんの患者さん、精神病の患者さん、または以前これらの病気にかかったことがある方
- 腎臓、肝臓、または心臓に障害のある方
- 妊娠または妊娠している可能性のある方
- 授乳中の方
- 現在ほかに飲んでお薬がある方

医師にこのお薬の処方を受ける際は、どこに、いつからどのくらいの期間渡航するのかを伝えてください。

また、年齢と体重により投与するお薬の量が変わるため、お薬の処方を受ける際は、医師に年齢と体重を伝えてください。

## ● メファキン「ヒサミツ」錠275の服用方法

- 必ず医師または薬剤師の指示に従い、服用してください。
- 錠剤は必ずシートから取り出して服用してください。
- お薬は大量の水（コップ1杯）と一緒に服用してください。また、空腹時を避けて服用してください。（このお薬は空腹時に服用すると、食後に服用するより吸収が悪くなります。）
- お薬を予防に使用する場合は、マラリア流行地域到着1週間前よりお薬の服用を開始し、1週間間隔（同じ曜日）で服用してください。また、流行地域を離れた後4週間は同様に服用してください。
- お薬を予防に使用する場合、お薬の服用は原則として12週間までとしてください。12週間を超えてお薬を服用する必要がある場合は、必ず医師に相談してください。また、副作用の発現等に留意して、定期的に検査を受けることをおすすめします。

## ● メファキン「ヒサミツ」錠275の服用を忘れた時

- 服用を忘れたことに気づいたら、できるだけ早く1回分を服用してください。その場合は、服用した日から1週間間隔（同じ曜日）で服用してください。
- 服用を忘れた場合でも、次に服用する際に錠剤の数を増やさないでください。

裏面にこのお薬の注意書きがありますので、必ずご覧ください。

## ●メファキン「ヒサミツ」錠275を服用する時の注意

- マラリアの予防としてお薬を指示通り服用していても、熱帯熱マラリアではお薬が効きにくくなっている場合があります。また、三日熱マラリア、卵形マラリアではこのお薬を服用した後に、再発※により発病することがあります。したがって、マラリア流行地域に滞在した後、原因不明の発熱があった場合は、マラリアの可能性を疑い、速やかに医師の診察を受けるようにしてください。  
※初発のときにまだ予防のお薬を服用していれば、発病に至らず、その後の再発が初発と認識されることもあります。
- お薬を服用している間、および最後にお薬を服用してから3ヵ月までは必ず避妊してください。
- お薬を服用している間、および最後にお薬を服用してから4週間は、車の運転、飛行機の操縦、高所での作業、危険を伴う機械の操作、潜水行為などを行わないでください。
- 他の病院などを受診する場合は、必ずこのお薬を服用していることを伝えてください。特に渡航先の病院を受診する際は、「服薬告知書」を医師に見せてください。
- 医師に相談せずに、他のお薬を服用しないでください。
- お薬を服用している間は、アルコール性飲料またはグレープフルーツジュースを避けてください。
- お薬を服用して、何か変だなと感じたら、すぐに医師または薬剤師に相談してください。

## ●メファキン「ヒサミツ」錠275の副作用に関する注意

### ①お薬の服用中に次のような症状があらわれた場合、服用を中止し、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

- 皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)、中毒性表皮壊死症：**  
高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が全身の皮膚、口や目の粘膜にあらわれるなどの症状
- けいれん：**  
めまい、ふらつき、頭痛、ふるえ、手足のしびれ感、顔や手足の筋肉のびくつき、一時的にボーッと意識が薄れるなどの症状
- さく乱：**  
もうろう状態などの症状
- 幻覚、妄想：**  
実際にはないものが、あるように見えるなどの症状
- 肺炎：**  
咳が出る、痰が出る、のどの痛み・腫れ、発熱、息切れがする、息苦しくなるなどの症状
- 肝炎：**  
白目や皮膚が黄色くなる、体がかゆい、黄褐色尿(泡まで黄色い)、淡黄色便、発熱、次第に強くなる倦怠感、関節が痛い、ぶつぶつ様の発疹、食欲がなくなる、気分が悪くなるなどの症状
- 呼吸困難：**  
息切れなどの症状
- 循環不全：**  
胸が苦しくなるなどの症状
- 心ブロック：**  
めまい、どうき、胸が痛む、胸部の不快感、脈が跳ぶような感じなどの症状
- 脳症：**  
頭痛、嘔吐、意識障害などの症状

### ②次のような症状に気づいたら、すぐに医師または薬剤師に相談してください。

- 頭痛、めまい、ふらつき、まっすぐ立てない、眠気、睡眠障害(眠れない、おかしな夢をみる)、感情不安定、失神、落ちつかない、精神病様症状、もの忘れ、疲労感、異常感覚(ピリピリ感、むずむず感など)などの症状
- 筋肉痛、関節のはれ・痛み、アキレス腱のはれ、行動障害、手足の違和感(しびれ、ふるえ・こわばり・筋力低下などの運動障害、知覚障害など)などの症状
- 低血圧(疲労感など)、高血圧(発汗など)、突然の窒息感、普段と脈の打ち方が違う・脈の打ち方がおかしい、胸の痛み・不快感などの症状
- かゆみ、発疹、皮膚が赤くなる、水疱などの症状
- はきけ、腹部膨満感、胃の不快感、下痢、腹痛、食欲がない、便秘、消化不良、舌のむくみ、歯肉のはれ、口内炎などの症状
- ものが見えにくい、音が聞きとりにくい、耳鳴などの症状
- 頭髪が抜ける、顔のむくみなどの症状
- 多汗、発熱、さむけ、鼻血などの症状

### ③他にも何か変だなと感じたら、すぐに医師または薬剤師に相談してください。

渡航先にてこのような症状に気づいたら、現地の病院にて医師に「服薬告知書」を見せて、このお薬を服用していることを伝えてください。

## ●「服薬告知書」(イメージ)

|  |   |
|--|---|
| <b>服薬告知書</b>   |   |
| お医者様へ<br>私はマラリア感染の予防のため、WHOが必須薬剤に指定している、メフロキン塩酸塩というキノリンメタンール誘導体を服用しています。<br>このお薬で知られている主な副作用は、嘔気、腹部膨満感、胃部不快感、めまい、ふらつき、頭痛、蕁麻疹、精神障害、平衡感覚異常等です。<br>血液学的には、AST(GOT)、ALT(GPT)、CK、TTT、ZTT、好酸球の上昇があります。<br>このお薬の血液中濃度半減期は、およそ16日です。 | ※このお薬を服用している間、病医院にかかる方は、お医者様に本告知書を見せて、このお薬を服用している事をお伝えください。 |
| 3320HZ   |   |

|  |  |
|--|--|
| Dear Doctors,<br>I am taking a quinolin methanol derivative called "mefloquine hydrochloride," which is designated as one of the essential drugs by WHO, for prophylaxis against infection of malaria.<br>Major adverse drug reactions known with the drug are nausea, bloating, gastric discomfort, dizziness, light-headedness, headache, urticaria, mental disorder, abnormal sense of equilibrium, etc.<br>As for blood findings, elevation of AST(GOT), ALT(GPT), CK, TTT, ZTT and eosinophil can be induced by the drug.<br>The biological half life (T <sub>1/2</sub> ) of "mefloquine hydrochloride" is approximately 16 days. | Señores Doctores.<br>Yo he tomado la medicina quinolin metanol inductor llamado "ácido clorhídrico mefloquine" para la prevención de la infección contra la malaria, que es designado medicamento indispensable por el WHO.<br>Los efectos secundarios principales que se conoce de dicha medicina son, náusea, distensión abdominal, gástrico desagradable, vértigo, tumbaleo, dolor de cabeza, urticaria, deficiente mental, sentido del equilibrio anormal, etc.<br>Según la hematología, se puede localizar la elevación de AST(GOT), ALT(GPT), CK, TTT, ZTT, leucocito.<br>La concentración sanguínea media biológica (T <sub>1/2</sub> ) del "ácido clorhídrico mefloquine" es aproximadamente de 16 días. |
|--|--|

もっと詳しく知りたいときは当院の医師または薬剤師におたずねください。

製造販売元



**久光製薬株式会社**

〒841-0017 鳥栖市田代大官町408番地